



九州大学 (福岡県)

充実した日本語クラス・豊富な実地見学・学部授業自由選択

■ 大学紹介

① 大学の特色及び概要

九州大学は、東京、京都、東北帝国大学に次ぐ4番目の帝国大学として1911年に創立されました。

現在、約19,000人の学生と約8,000人の教職員が在籍し、12学部、19学府、国内最大級の大学病院や附属図書館などを保有しています。

九州大学には、主に4つのキャンパスがあり、総合科学の中核・実証実験拠点としての伊都キャンパス、生命医療科学拠点としての病院キャンパス、先端科学融合拠点としての筑紫キャンパス、先端デザイン拠点としての大橋キャンパスが、それぞれ特色ある研究や教育を展開しています。

2011年には創立百周年を迎え、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、「九大百年、躍進百大」、すなわち、すべての分野において世界のトップ百大学に躍進することを行動計画として掲げている。また、九州大学は、九州の玄関口、福岡に位置することから、地理的・歴史的にアジアに近く、開学当初から「アジアに開かれた大学」を標榜している。

【学部】 共創学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部

【大学院】 人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、法務学府（法科大学院）、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、医学系学府、歯学府、薬学府、工学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府、マス・フォア・イノベーション関係学府

② 国際交流の実績

【交流協定締結数】 (2024. 10. 21現在)

(学術交流協定)

大学間：153機関 (36ヶ国・地域)

部局間：294機関 (45ヶ国・地域)

〈学生交流協定(覚書)〉

大学間：143機関 (34ヶ国・地域)

部局間：245機関 (39ヶ国・地域)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数2,569人(2024. 5. 1時点)
日研生13人(内、私費留学生10人)

2023年：留学生数2,526人(2023. 5. 1時点)
日研生12人(内、私費留学生10人)

2022年：留学生数2,361人(2022. 5. 1時点)
日研生4人(内、私費留学生2人)

④ 地域の特徴

九州大学がある福岡市は、九州の北部に位置し人口約165万人の商業・貿易都市であり、地理的・歴史的に日本とアジア地域を結ぶ窓口としての機能を果たしている。

九州大学は、福岡市の中心地である博多からは電車やバスで約45分、天神からは約40分、福岡空港からは約50分とアクセスがよい。

また、隣接している糸島市は自然やレジャーに富み、週末は市民の人気スポットとなっている。

■ 研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

九州大学日本語・日本文化研修コースは、留学生センターが開設するもので、日本語・日本文化研修留学生が、今後の日本研究に必要なとなる日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることを目的としている。

② 研修・コースの特色

日本語・日本文化研修留学生は、留学生センターに所属し、留学生センターで開講する「日本語論」「日本社会文化論」及び「自主研究」の必修科目と各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて、文学部、経済学部、法学部などで開講される日本の社会や文化に関する学部学生向けの授業を選択科目として受講することができる。

さらに、留学生センターで開講する技能別の日本語の授業(総合、漢字、会話、作文)も受講することができる。

③ 受入定員

30名(大使館推薦2名程度、大学推薦1名程度、他私費留学生)



<授業風景>

④ 受講希望者の資格、条件等

本コースは、日本国以外の大学に在籍し、日本研究を専攻としている学部学生(1年次生を除く)で、既に基礎的な日本語の学習を終え、本学において日本語で行われる日本の社会や文化に関する授業を受講できる日本語能力(日本語能力試験N1合格程度が望ましい)を有する者を対象とする。

⑤ 達成目標

本コースでは、上記④の資格、条件を満たす学生を11ヶ月間受け入れ、彼らの今後の日本研究に必要な日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることにより諸外国の将来を担う世代に日本への興味・関心を伝播し、日本の事情に通じた指導者となる人材を育成することを目的としている。

⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間：2025年10月上旬～2026年8月下旬
(在籍期間：2025年10月1日～2026年8月31日)

※2025年9月下旬にオリエンテーション実施

※閉講式は2026年8月上旬実施予定

※8月上旬授業終了後、8月末まで自主研修期間

※選択科目にて集中講義受講可能

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月～2026年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日

9月 オリエンテーション

10月 開講式、秋学期開始

11月 地域住民との交流会

12月 座禅体験

2月 秋学期終了、歌舞伎鑑賞

4月 春学期開始、日田見学旅行

5月 吉野ヶ里見学旅行

6月 歌舞伎鑑賞

8月 春学期授業終了、閉講式

自主研修期間(授業終了後から8月末まで自主研修期間)

8月下旬 帰国

⑨ コースの修了要件

必修科目2単位(30時間)、選択必修科目24単位(360時間)及び選択科目4単位(60時間)、合計30単位(450時間)以上の修得を修了要件とし、本学留学生センター委員会にて成績・修了認定を行う。認定された成績の証明書を発行するほか、要件を満たしたコース生には、修了証書を授与する。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

本コースでは、「日本語論」及び「日本社会文化論」科目に加えて、留学生センターで開講する技能別・レベル別の日本語クラスを受講することができる。

2) 研修・コース開設科目

	授業科目	第1期 (10-3月)	第2期 (4-8月)
必修科目	自主研究		2単位 (30時間)
選択必修科目	日本語論	12単位 (180時間)	
	日本社会文化論	12単位 (180時間)	

I) 必須科目

【自主研究】：文献講読または社会調査

II) 選択必修科目

【日本語論】：

応用日本語、研究方法論、日本語・日本文化概論、日本社会と地域方言、ジグソー法で学ぶ身近な日本学、ドキュメンタリー番組で学ぶ日本語、映画・ドラマに見られる日本文化と日本語

【日本社会文化論】：

日本の宗教と社会、和菓子と日本人、音楽文化にみる日本、ドラマで学ぶ日本の歴史、4コマ漫画にみる日本、日本の宗教文化、九州学

III) 選択科目：

本学学部生対象開講科目から選択。主に、文学部、法学部、経済学部等の科目を履修。

3) 見学、地域交流等の参加型科目

コースの教育活動の一環として、日本の文化や歴史、自然に触れる見学旅行を実施するほか、自治体や小学校訪問等を通じて地域交流を行う。



4) 日本人学生との共修の機会

選択科目として本学学部学生と同じ授業を履修する。履修科目は、多数の開講科目から、各自の日本研究に関する専攻分野に応じて選択する。

5) その他の科目等

学生たちの多様なニーズに応えるため、カリキュラムの一環として、報道関係者、日本文化研究者をゲストティーチャーに招き、講演会を行っている。今後は、企業経営者等福岡県内にて活躍するさまざまな方へ依頼することも計画している。

また、各自の日本語能力レベル及び技能に応じて、留学生センターで開講する以下の日本語クラスを履修することができる。

Level	Integrated Courses	Kanji	Speaking	Writing
Beginners	I1	K2	S2	
Elementary I	I2			
Elementary II	I3	K3	S3	
Pre-Intermediate	I4	K4	S4	
Intermediate I	I5	K5	S5	W5
Intermediate II	I6	K6	S6	W6
Pre-Advanced	I7	K7	S7	W7
Advanced	I8	K8	S8	W8

⑪ 指導体制

日本語・日本文化研修留学生には、留学生センターコース・コーディネーターが各自の学業面等について個別指導にあたる。

さらに、生活面や異文化適応に関しては、留学生指導に関する専門の教員が適宜対応する。

加えて、学生レベルでのサポート体制として、本学学生によるチューターを1名ずつ配置し、日常生活や修学上のサポートを行うとともに、日本人学生との交流が図れるような環境を整えている。



<スタディトリップ>



<スタディトリップ>

■宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は、コース期間中、留学生用宿舎に入居できる。

宿舎は、バス、トイレ、机、書棚、ベッド、収納棚、冷蔵庫、エアコン備付、インターネット接続可能（別途申込要）。



<ドミトリーI及びII>

※伊都キャンパスの留学生・日本人混住宿舎



<スタディトリップ>

■修了生へのフォローアップ

九州大学日本語・日本文化研修コースは、本学の英語による短期留学プログラムであるJTW (Japan in Today's World) とともに、日本語による短期留学プログラムとして国内外で高い評価を得ている。また、本コース修了者の満足度は高く、その多くが在籍大学卒業後、再び本学や日本の大学院に進学したり、日本企業に就職する等している。



■問合せ先

<担当部署>

九州大学国際部留学課受入戦略係

住所 〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡744

TEL +81-92-802-2291 (直通)

FAX +81-92-802-2287

E-mail: intlr-isc@jimu.kyushu-u.ac.jp

<ウェブサイト>

日研生ホームページ

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/>

九州大学留学生センターホームページ

<https://isc.kyushu-u.ac.jp/center/>

九州大学ホームページ

<http://www.kyushu-u.ac.jp/>